



**神奈川県フットサル連盟**

**新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン**

**2020 無観客試合用**

**No2 (2020/8/4)**

# 運営ガイドライン

(1) リーグ戦当日に館内へ入場できる者

## ①チーム関係・大会関係者

連盟指導のもとチーム関係に対しては以下の対応を行なう。

### ■チーム関係・大会関係者の定義（ピッチレベルに立入できるもの）

- ・ 本年度、大会登録している選手・役員（ADカード携行者に限る）
- ・ 運営チーム
- ・ 神奈川県連盟役員・理事
- ・ 神奈川県サッカー協会担当者
- ・ 運営委員（正）、運営委員（副）
- ・ 公式記録担当者
- ・ ボールパーソン（4名まで）
- ・ 担架要員

連盟指導のもとチーム関係に対しては以下の対応を行なう。

#### 1.自身の感染防止のため

十分な休息、手洗い、うがい、移動中・会議中のマスク着用など体調管理ならびに感染予防に努める。

#### 2.他者への感染防止のため

- チーム代表者（担当者）が受付にて神奈川県サッカー協会コロナウイルスチェックシート（問診書）を提出

- 当日検温

※非接触型での検温において計測数値が低すぎる場合や 37.5 度より低い、顔が赤い、目がうつろな表情などの場合は実測値（予想値）型の体温計で検温する。

●体温が 37.5 度を超えている場合

入館はできません。他の選手とは隔離し、速やかにリーグ委員長に報告をする。

●消毒用エタノールなどで手指を除菌する。

●マスク着用の順守。未着用の場合は、着用してもらう。

※未所持の場合は、連盟（リーグ）用意のマスクを使用する。

●参加人数・AD カード（選手証・KFFSTAFF カード）を確認する。

上記以外の入館は原則不可とする。

AD カードのない「チーム関係者」「親族」「選手登録していない入団予定者」「応援団」の入場も不可とする。

※ただし、リーグ運営上やむを得ない場合は試合当日までにリーグの許可を得る。

⇒フリーフォームにて所属リーグ運営委員全体にメールにて提出すること。

●試合当日までにライセンス保有者（監督やコーチ（監督代行者））が諸症状発症し、試合当日不在となる場合は、

判明した時点で直ちに大会担当者に報告を必ず行なうこと。

●試合当日にライセンス保有者が入館できない場合は、マッチコミッショナーおよびリーグ委員長に報告をし、そ

の場合は救済措置としてライセンス保有者不在のまま試合を実施する。また、後日チームより報告書を提出するこ

ととする。

●各チームの入館時間は、キックオフの 120 分前からとし、控室利用時間までは観戦席にて待機すること。また、

試合終了後は 90 分以内に速やかに退館すること。

●万が一、ファン、サポーター等の出待ち行為があった場合は、サイン等、一切のファンサービス対応を禁止とし

ます。

## ②審判員

連盟指導のもと審判員に対しては以下の対応を行なう。

### 1.自身の感染防止のため

十分な休息、手洗い、うがい、移動中・会議中のマスク着用など体調管理ならびに感染予防に努める。

### 2.他者への感染防止のため

#### ●検温

※非接触型での検温において計測数値が 37.5 度より低い、顔が赤い、目がうつろな表情などの場合は実測値（予想値）型の体温計で検温する。

#### ●体温が 37.5 度を超えている場合 ※平熱が低い場合、平熱時より+1.0 度

入館はできません。他の選手とは隔離し、速やかにリーグ委員長に報告をする。

#### ●消毒用エタノールなどで手指を除菌する。

#### ●マスク未着用の場合は、着用してもらおう。

※未所持の場合は、連盟用意のマスクを使用する。

#### ●AD カード（選手証又は STAFF カード）を胸の前にかざす。

※館内移動時は携行すること。ただし、アップ～試合終了時まではこの限りではありません。

### 3.体温が 37.5 度を超えている場合

#### ●運営担当者は部会長に報告する。

運営委員長は連盟役員と審判委員会に連絡し、当該者のキャンセル（交代）対応の指示に基づき運営対応を行なう。

※業務中の体調不良による場合も同様の対応とします。

審判員につきましては、試合中とその前後（業務中/会議を除く）は、円滑な競技進行の為、マスクを外します。

ただし、それ以外の時間についてはマスク着用とし、体温が 37.5 度を超える場合は交代します。

### ③公式記録員（オフィシャル）・ボールパーソンおよび担架要員

- ・全てマスク着用のうえ業務に従事する。
- ・当日に体温が 37.5 度を超える場合は交代します。

### ④マスコミ・メディア各社

- ・取材申請許可書を確認し、下記の事項を厳守のこと。
- ・受付時に名刺または連絡先を必ずもらうこと。※各社 2 名まで
- ・会場滞留時間削減の為、受付開始時間を通常よりも遅らせ、試合終了後の作業時間を 1 時間とする。
- ・検温と問診アンケートを実施すること。

当日に体温が 37.5 度を超えている場合は入場を許可しない。

- ・全てマスク着用のうえ業務に従事する

### ⑤その他

- 1) 体育館スタッフ
- 2) サッカー協会・フットサル連盟関係者

全てのスタッフは原則マスク着用とするが、業務執行上必要な場合は外す場合がある

原則、会場入りする際は、全員が検温と問診を行ない、アルコール除菌をした上で入館 OK とする。

※試合開催時は、神奈川県サッカー協会で作成したものを使用。

当日に体温が 37.5 度を超えている場合は入場を許可しない。

### 3.試合当日の各種イベント（セレモニー）等について

#### ①各種試合時のセレモニーについて

KICKOFF 前の（個別入場含む）選手入場セレモニーは実施致しません。

#### 【タイムスケジュール例】

- ・ ピッチ内アップ開始
- ・ ピッチ内アップ終了
- ・ 両チーム選手ベンチへ⇒（ベンチ前にて）エキップメントチェック
- ・ 審判団・選手入場
- ・ KICKOFF

#### ②対戦チーム同士の各種所作について

以下の行為は感染防止の観点から行わないこと。

- 審判員との握手 ※審判員同士の握手含む
- 対戦チーム同士選手・スタッフの握手、ハイタッチ等の競技以外での接触行為
- アップ時はできる限り、間隔をあけて行なうこと。
- 飲みまわしなど、1つの容器を共有使用しないこと。
- 監督およびスタッフは、原則競技中マスクを着用する事。※熱中症に注意すること。

#### ③各種メディアについて

全ての来場メディアには以下を徹底とする。

- 体温の確認
- マスク着用
- 2 m以上の距離確保

原則行わないもの

●試合終了後のインタビュー

※速やかな退館を促進するため。

④選手控室/審判控室での過ごし方

・控室は密室の為、ミーティングなどやむを得ない場合を除いて、30分以上の滞留することは控えること。

出来る限り窓やドアを開けるなど換気を行なうこと。

・ミーティングは、原則マスク着用し、会話はできる限り控えること。

・ミーティングはできる限り間隔をあけて実施すること。

⑤MCMについて

・無観客試合期間には行わない。

・メンバー票は、60分前までに、選手証又は登録一覧書（写真付き）とともに提出すること。

⑥除菌作業

当日、選手・審判員が使用するものについては、事前に除菌作業を行なうこと。

使用後についても同様の作業を実施すること

ロッカー・スタンド等使用するもの・使用したところは、各自除菌作業を行なうこと。

また、チーム責任者はそのことを確認すること。

⑦消毒液の準備

●手指消毒液の準備

アルコール濃度が70%～80%（厚生労働省）または60%～80%（WHO）のもの。

●モノに対する消毒液アルコール濃度が70%～80%のものを使用。代用品として次亜塩素酸ナトリウム、次亜塩素水の液体を使用する場合は、必ずマスクとゴム手袋の着用と換気をし、安全性に注意しながら使用すること。

※希釈する場合は、濃度に注意

#### ⑧ 消毒液の設置

以下の場所へ設置を行なうこと。 ※本数、容量によっては審判控室の常設はなし。

- ・ 運営本部
- ・ オフィシャル席
- ・ 審判控室

※常設は火気（危険物）の観点から管理者を決めて設置を行なうことが望ましい。

#### ⑨ 飲食について

- ・ 観客席で人との距離を取り、食事を行なう。控室など狭い空間での飲食は避けること。

## 4.その他

#### ① 感染防止の報告・連絡・相談

以下に該当する場合、選手はチームドクター、トレーナーに指示を仰ぐこと。またチームは速やかに連盟大会担当者に連絡を行なうこと。

A:自主隔離している場合（疑わしい症状（例）37.5度以上発熱2日連続など）がある）

B:選手・スタッフがPCR検査を行う予定がある場合

C:選手・スタッフがPCR検査を行い、陽性判定が出た場合



D:濃厚接触者指定を受けた、または疑わしい場合

E:その他：発熱以外の症状（味やにおいを感じなくなる症状など）

## ②SNSについて

SNSでファンに向けてのアナウンスは非常に有効であることから、こういう機会だからこそ、ファン・サポーターに向けた前向きなメッセージを発信すること。

ただし、体育館や自宅以外の場所など不特定多数との接触を不安視させるような場所での（画像・動画含む）投稿は控えること。

また、感染症に関連してかつ患者やその家族等に対するいわれのない差別や偏見が存在した教訓から、個人の人権が損なわれることのないよう、情報保護等には十分留意が必要です（感染症法、4条、16条）人物が特定されるような投稿はしないこと。

※「感染症法」に抵触します。投稿内容のリツイートやシェアだけでも罪に問われる可能性があります。

## ③換気について

試合勘で消毒や換気を行なう時間を設けることが望ましいが、難しい場合は、できる限り事前に施設と協議し、指示に従ってください。

## ④観客席利用について（スタンド）

チームごとに決められたエリア内、最低1座席分を開けたスペースを作り間隔を開けて利用するようにしてください。

チーム責任者は、最後に使用した席の消毒をおこなったかの確認をおこなってください。

コロナウイルスガイドライン追加事項 2020. 7. 31

2020. 8. 4

## コロナウイルス感染による試合の有無(チーム)

・濃厚接触者がチーム練習に参加した日から 14日以内で該当選手が練習に参加していない場合は、その選手は試合に参加できないが、チームとしては参加できる。

下記の場合は 試合をしない。

- 1 過去 14 日以内に、コロナウイルス感染者は、試合はできない。
- 2 過去 14 日以内に、コロナウイルス濃厚接触者になった場合は、試合はできない。  
PCR 検査判断とする。
- 3 過去 14 日以内に、コロナウイルス濃厚接触者疑いになった場合は、試合はできない。  
PCR 検査判断とする。  
(同居家族や身近な知人に、感染が疑われる方がいる)

※延期の会場は、探しますが、年度内に実施できない場合もあります。その場合、無効試合となる。

※ チーム登録選手およびスタッフが感染疑いにより

PCR検査の結果待ちだった場合には、当該チームの試合を連盟預かりとする。

チームはPCR検査結果報告書を提出すること。

(時系列から個人情報不要で報告する。連盟へ送ること)